



人と緑がつながるまち、大丸有。

～都心の緑へ、出かけよう～



千葉大学大学院

園芸学研究院 准教授 岩崎 寛 さん

ランドスケープデザイナー

設計組織PLACEMEDIA

パートナー 宮城 俊作 さん

(東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻 教授)

JPビルマネジメント株式会社

商業施設事業部門 KITTE担当 濱本 りさ子 さん

一般財団法人 国民公園協会

広報主任 石井 麻菜 さん

[大丸有のたしなみ方]

「有楽町アートアーバニズムプログラムYAU(ヤウ)」

「SCeNT HOUSE DEN 丸の内」

「東京サンケイビルキッチンカー SMILE SPICE」

「GARB Tokyo」

大丸有掲示板

「OPEN CITY MARUNOUCHI 2021」を実施しました。

昨年10月7日(木)～10月9日(土)の3日間で開催した「OPEN CITY MARUNOUCHI 2021」。2018年より大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会主催で毎年実施しているもので、このエリアで普段見ることのできない場所をツアー形式で探訪し新たな発見をしていただく、大人の社会見学のようなプログラムです。新型コロナウイルス感染症への対策として、1プログラム10名以下での小規模開催となりましたが、無事31プログラムを開催することが出来ました。延べ440名ほどのご参加があり、毎年恒例の人気行事となっています。



「丸の内イルミネーション 2021」を実施しました。

昨年で開催20年目を迎えた「丸の内イルミネーション 2021」。2021年11月11日(木)～2022年2月20日(日)まで開催し、有楽町の東京交通会館から大手町仲通りまでの約1.2kmを、当地区のオリジナルカラーであるシャンパンゴールド色のLEDで彩りました。例年は17:00～23:00の点灯ですが、開始を2時間早めて15:00からとすることで、屋外で密を避けながら、ゆったりと過ごしていただけるようになりました。



もっと詳しい内容は右の二次元コードからWEB ON!へ

大丸有協議会

検索

<https://www.tokyo-omy-council.jp/>



編集 後記

今号は、「まちづくりと緑」の関係性を解き明かす特集でした。大手町・丸の内・有楽町のエリアには、予想以上に多くの緑があります。コロナ禍により家にこもりがちな昨今ですが、この特集を通じて、皆様は普段になげなく見過ごしている緑の存在を意識して、いつもと違った目線でもっとまちを歩きたくなる、そんな気持ちになっていただけたらと思います。



大丸有協議会事務局 / 松尾



発行：一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

〒100-8133 東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル

TEL.03-3287-6181 FAX.03-3211-4367

<https://www.tokyo-omy-council.jp/>

「大丸有(だいまるゆう)」とは、大手町の「大」丸の内の「丸」有楽町の「有」からとった造語です。



人と緑がつながるまち、大丸有。

～都心の緑へ、出かけよう～

新緑が芽生え、色とりどりの花が咲き始めました。今回の「ON!」は、春の訪れを楽しめるワーカールームのお気に入りのスポットをご紹介します。また、「こころと緑」「景観と緑」の視点から専門家のお話も伺い、グリーンインフラが進んだ大丸有エリアの魅力を発信します。

人に自然の偉大な恩恵を授けてくれる植物。 まずは身近な緑地で“公園浴”はいかがでしょう。

千葉大学大学院 園芸学研究院 准教授 岩崎 寛 さん



—岩崎先生が研究されている人間植物関係学、環境健康学について教えてください。

一言でいえば、人の健康に効果的な「植物」の活用に関する研究です。アメ

リカでは植物の力で心の傷を癒す園芸療法が発展しており、日本でも1995年の阪神・淡路大震災以降、植物がメンタルケアに及ぼす影響が注目されています。私の研究院ではそんな植物の力を実証根拠に基づいて効果検証し、なぜ人は緑に癒されるのか？という疑問へ科学的にアプローチしています。

—科学者の視点から、なぜ人は緑に癒されるとお考えですか？

私たち人間にも自然治癒能力は備わっています。それがより強く持っているのが植物です。なぜなら彼らは「動くことができない」からです。だから殺虫効果や殺菌効果のある成分を、自らの力で生み出し治癒します。除虫菊などはその典型といえるでしょう。またご存じの通り、植物は光合成をして酸素を

それを「公園浴」と呼んでいます。

自宅やオフィスでは「常に視界に入る場所」に植物を置くのがおすすめです。窓の外はあまり見ないでしょう。フリーアドレスの会社であれば、オフィスの入口に人数分の鉢植えを用意し、社員がその日の



はき出します。人や動物はその酸素で呼吸をしているわけです。私たちは彼らの偉大な力の恩恵を受けているのです。でも便利な都市化が緑を遠ざけたことで、人は健康を損ねることになったのです。—人はどのように植物と接すれば、その恩恵を最大化できるのでしょうか。

例えば、植物の恩恵を受ける方法として「森林浴」があります。しかし、都心で生活していると森林まで行くことはなかなか難しい。でも公園にも植物はたくさんあります。近所の公園なら隙間時間を利用して行くことができます。私は

気分を選んで自分のデスクで目の前に置ける「フリーアドレスの鉢植え」も面白いかもしれません。いつも見て、愛着を持って接することができる「パーソナル緑化」がメンタルケアに良い影響を及ぼすことが研究で実証されています。視覚だけでなく、触覚、嗅覚など五感をフルに使って植物と接するほど効果的です。葉に触れてみるのもとても良いですよ。

—大丸有エリアの「緑」に対する、岩崎先生の印象をお聞かせください。

人間は本能的に自然や緑を求めます。そして、本物と人工的な自然を敏感に

見分けることができる。等間隔で整然と植えられた街路樹に自然を感じないのはそのせいです。その点、大丸有エリアにある『大手町の森』は階層ごとに多様な植物を配置した雑木林で、本物の「森」を感じさせる優秀な事例です。さらに大丸有エリアでは街を緑化するだけでなく、ストリートパークなどを通じて「緑」と人の接点を創出していることも評価されています。再開発の中で緑化して終わりではなく、その後も緑と人がどう関わるかまで考えるこのエリアのまちづくりには非常に共感しています。



ランドスケープは、人と自然と街をつなぐ。 『KITTE』の屋上庭園で、緑が建物と街をつなぎました。

ランドスケープデザイナー

設計組織 PLACEMEDIA

パートナー

宮城 俊作 さん

(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授)

——さまざまな肩書をお持ちの宮城先生。最近の主な活動を教えてください。
ランドスケープアーキテクトとして、主に東京や京都などの大都市部における再開発を手がけるほか、東京大学大学院の教授として学生たちと向き合っています。私は京都宇治の古刹の家に生まれたものですから、山紫水明ともい

べき京都の豊かな自然への思い入れが強い。京都では町家の小さな坪庭に自然の景観を凝縮させる文化があり、市街地のまちづくりにもその思想が脈々と受け継がれています。自然を感じられない空間にこそ、自然を凝縮して取り込む——そんなランドスケープデザインを目指しています。

——オフィス内の緑については心の健康への好影響が実証されていますが、市街地の緑は人にとどのような恩恵を与えたとお考えですか？

やはり「外へ出てみよう！」という意欲を高めてくれることではないでしょうか。昨今のコロナ禍で家の中に閉じこもりがちになるなか、街並みを彩る緑は、外へ足を一歩踏み出したくなる大きなモチベーションになってくれるはずですよ。

——そのモチベーションをより高めるために、人が造る景観である「街の緑化」はどうあるべきでしょう。

建物と屋外の中間領域がどれだけ豊かになるかが重要と考えています。テラス、アトリウム、バルコニー、屋上——そういった「内」と「外」の境界となる領域に着目すべきだと思います。たとえば日本の伝統家屋にある縁側がそれです。私が関わらせていただいたJPTタワー『KITTE』は、ビルと屋外との中間領域として屋上庭園をつくり、パブリックな空間として一般に開放されています。私たちが緑とともに造り出す景観は、建造物を通して「自然と人間をつなぐための装置」なのです。

——大丸有エリアの再開発にも深く関わられている立場から、この街に期待する



ことをお聞かせください。

土地の記憶を大切にすることです。大丸有エリアは街区ごとに時間差を伴いながら徐々に再開発が進んできました。が、これからは地上・地下を含めた内と外の自然のつながりを、より意識すべき

段階かもしれません。その土地に本来ある風土や植生、佇まいを景観整備の際に取り入れる。たとえば皇居外苑や仲通りのように、だから歩くともも気持ちがいいのです。
このエリアは多様な人々が世界から

集まる都市の中心なので、それぞれの人が触れてきた自然の記憶を、ここの土地の自然とつなげる緑がそこかしこに溢れている——そのような時間を超えた記憶のつながりを大切に作る緑のまちづくりに期待しています。

KITTE

季節、時間、天候によって趣を変える。 丸の内の多彩な景観をお楽しみください。

JPTビルマネジメント株式会社

商業施設事業部門 KITTE担当

濱本

りさ子さん

KITTEは施設コンセプト「にっぽんらしさと、あたらしさを。」

のもと、全国各地のご当地グルメや日本のモノづくりにごだわった品を取り揃えています。この施設名は「切手」を貼って大切な人へお便りを送るように、商品やサービスに付加価値を加え、その想いまでも届けたという気持ちと「来て」と

いう意味が込められています。

そんなKITTEの見どころのひとつが、6階の『KITTEガーデン』。約1500㎡におよぶ広大な屋上庭園で、東京駅丸の内駅舎をはじめ新幹線のホームなどを一望することができます。四季折々の色彩はもちろん、時間、天候によってさまざまな表情を見せてくれるところも魅力です。また、ガーデンに隣接するフレンチレストラン『アルカナ東京』では5月から10月上旬までテラスカ



フェをオープンしており、素敵な眺望とともに食事をお楽しみいただくことができます。

私が個人的におすすめする時間帯は、比較のお客様の少ない平日の午前中。景色を眺める場所は、ガーデンの左端がお気軽に入り、東京駅丸の内駅舎全体をワイドに見るならここがベストです！

©KITTEでは年間を通じて、季節感のあるさまざまなイベントも開催しています。



詳しくはこちらから

見る場所・角度・季節ごとに異なる多彩な表情。
それも、皇居外苑の魅力だと思います。

一般財団法人国民公園協会

広報主任 石井 麻菜 さん

— 皇居外苑をはじめとする国民公園と、国民公園協会の取り組みについてお聞かせいただけますか？

国民公園は昭和22年に旧皇室苑地の皇居外苑、京都御苑、新宿御苑を公園として国民に開放されました。現在は環境省が管理しており、私たち国民公園協会は、それらの清掃、樹木の管理、レストランや駐車場など施設の維持を受託しております。コロナ禍に見舞われる以前は、定期的に来園者向けのボランティアガイドツアーなども行なっております。

— 皇居外苑の見どころについて、いくつかご紹介いただけますか？

ひとつは水と緑をテーマにした「和田倉噴水公園」でしょうか。大きな噴水とともに園内からは江戸情緒あふれる異



江戸エコ行楽重 1,980円(税込)～
※写真は「与の重」2,530円(税込)
※3日前までにご予約ください

櫓(たつみやぐら)が見え、多彩な景観を楽しむことができます。行幸通りに近いことから紅葉のシーズンは噴水と銀杏並木が同時に視界に入り、写真撮影には最高のスポットです。

また、海外の旅行者が必ず足を止めるのが楠木正成公の銅像です。高村光雲、山田鬼斎、石川光明、後藤貞行といった当時の名だたる彫刻家が木彫りを手がけ、日本初の分解鋳造法により明治33年に完成しました。上野恩賜公園の西郷隆盛像、靖国神社の大村益次郎像とともに「東京の三大銅像」と称されています。

— 皇居外苑では「楠公レストハウス」でのお食事も楽しみのひとつですね。

一般の方から団体様、企業や学校関係の行事など幅広いお客様にご利用いただいています。伝統和食

をテーマにした一汁三菜定食を中心に、国産の黒毛和牛や若鶏を使用した「大名丼」、軽食や甘味セットなどメニューも多彩です。特に、ご予約により召し上がれる『江戸エコ行楽重』は人気で、食材やその調達法、水光熱の消費を抑える調理法を用い、古い文献をもとに、江戸時代の食を再現したもので、食を通じた環境保全をテーマとしています。

— 最後に、石井さんイチオシのお出かけスポットがあれば教えてください。

北の丸公園は千鳥ヶ淵のソメイヨシノを一望できるスポットとして人気ですが、外側からの景観だけでなく、ぜひ内側にも注目していただきたいですね。とくにソメイヨシノより少し遅れて咲く花木園の八重桜は必見です。

また、広大なお堀を一望できる桜田濠もお気に入りの場所です。秋には半蔵門に向かう坂道に並ぶ百合の木が一斉に紅葉し、見事な景観を見せてくれます。見る場所、見る角度によって、四季の移ろいとともにさまざまな表情を見せてくれる—それも、皇居外苑の魅力だと思います。



◎皇居・皇居外苑散策アプリ



Android用



ios用



和田倉噴水公園

※メンテナンスにより令和4年2月～3月末まで噴水を停止しています(工事の進捗により工程が変更される場合があります)

(上)皇居外苑 (右)楠木正成像



店長の仲村航さん ※通常はマスクを着用して営業しています



有楽町ビル10階「YAU STUDIO」@TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT



知っているとおなたを
ちょっとハッピーにしてくれる、
まちのエッセンスをお届けします。

見て・交流して・考える、
有楽町にアーティストが滞在中!!

大丸有エリアで、アートによるまちづくりの新しい取り組みが行われています。このプログラムを主催する大丸有まちづくり協議会では、アートがもつ創造力を都市に取り入れていくため、2019年に「アート×エリアマネジメント検討会」を設置。クリエイティブな人々の感性や、異なる視点への共感から都市にイノベーションを起こす取り組みを「アートアーバニズム」と名付け準備を進めてきました。2022年2月1日に始まった「有楽町アートアーバニズムプログラムYAU(ヤウ)」は、そのコンセプトをカタチにした実証パイロットプログラム。アーティストの作品制作の過程を公開し、交流もできる「YAU STUDIO」が有楽町ビル10階に設置されるほか、専門家によるアドバイスもアーティストに提供する相談所「YAU SOUNDAN」が国際ビル地下1階の「YAU COUNTER」で展開されます。

さらに、街とアートについて学びを深

都会の中の森をイメージした、
緑豊かな大人の隠れ家。

エントラスから足を踏み入れると、円を描くバーカウンターが。その周囲にあしらわれた植栽は、すべて本物。「SCENT HOUSE DEN 丸の内」のコンセプトは「都会の中の森」。店内は森林のアロマがほのかに香り、五感を通じて心と身体を癒してくれます。

そのこだわりは、お料理にも表れています。「当店では味はもちろん、盛り付けの美しさや香辛料、スパイスの香りなど、五感で料理をお楽しみいただけるよう工夫しています」と話す仲村航店長。さ

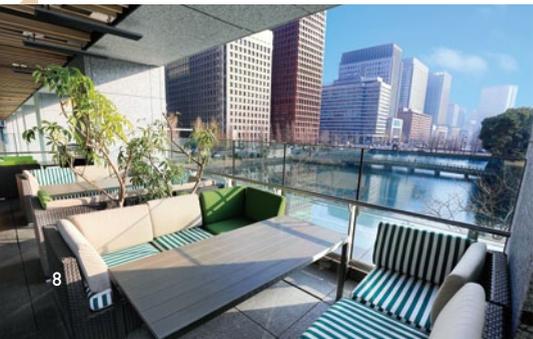


(手前) 香辣醬×揚げ豚 シャンラー豚 1,450円
(左上) 魯肉飯(ルーローハン) 1,200円
(右上) 汁なし担々麺 1,200円
※すべて税込

SCeNT HOUSE DEN 丸の内 Food



一人ですっきりとくつろげるバーが貴重な大丸有エリアにおいて、まさに大人の隠れ家的なお店。若い方の「バーデビュー」にもぴったりですね。



YAUキービジュアルのひとつ

有楽町アートアーバニズムプログラム YAU(ヤウ) Art



公式サイトはこちらから!

める「YAU CLASS」も開講。連携プログラムとして、新有楽町ビル1階を空間メディアとして活用するアートプロジェクト「ソノアイダ#新有楽町」も開催中です。「アートに興味がある」「アーティストと交流したい」という方は絶好のチャンス。会期は5月下旬まで。詳細は、公式サイトやSNSでチェックできます。アーティストとともに街が育ち、そして、そこに集う人々の心も豊かに育まれていく



新有楽町ビル1階「ソノアイダ#新有楽町」



国際ビル地下1階「YAU COUNTER」
©TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT



店長の長田麻紀さん ※通常はマスクを着用して営業しています



丸の内仲通りで極上の美味しさと心地よい空間を提供する『GARB Tokyo』。コンセプトは『オールデイユース』。アンティークとモダンが同居した開放的な店内でランチ、カフェ、ディナー、バーと、1日を通してさまざまなニーズに添えてくれます。

「平日はランチ・ディナータイムでのお食事をはじめ、デート、接待などさまざまな用途でご利用いただけます」と語るのは、長田麻紀店長。近隣のワーカーはもちろん、週末



日替わりランチ(内容は日替わりです)
 (上)ガーブランチ(パン又はライス付) 1,200円
 (下)パスタランチ(パン付き) 1,200円
 ※すべて税込 ※ランチメニューは平日のみとなります



GARB Tokyo Food

にはショッピングに訪れる女性客にも人気です。天気の良い日は、仲通りに面したテラス席もおすすめ。

ランチタイムに提供される肉料理、パスタ、カレーはすべて日替わり。ディナータイムには、イタリアン、スパニッシュ、フレンチをベースにした約50種類のアラ・カルトを楽しむことができます。さらには、お酒の好きな方に長田店長からうれしい情報が。

「14時半から20時まで、スタンディングのバーコーナーでワイン、ビール、ハイボールなどを500円で提供しています。フードも豊富に取り揃えていますので、ぜひご利用ください。」

スイーツ好きにはたまらない、もっちりふわふわのシフォンケーキ「エンゼルフードケーキ」などのデザートも充実。いつでも、誰でも、誰とでも。特別な日はもちろん、普段使いにも利用したいお店です。



エンゼルフードケーキ
 (手前からバナナキャラメル/
 ショコラ) 800円(税込)

極上の美味しさと楽しさを、
 いつでも、誰でも、誰とでも。



オーナーの並木淳三郎さん
 ※通常はマスクを着用して商品をお渡ししています



俺の昭和カレー(上) 600円
 トッピング 目玉焼き乗せ(下) 700円
 ※すべて税込

東京サンケイビル キッチンカー SMILE SPICE Food

Food
 テイクアウト



トロトロの牛すじ肉がクセになる、昔懐かしいカレーライス。

大丸有エリアでも大人気のキッチンカー。2003年にキッチンカーの出店を始めた東京サンケイビルは、その草分け的存在ともいえ、お昼時になると近隣のワーカーたちで賑わいます。そのなかでも8年以上にわたり愛され続けているのが、SMILE SPICEの『俺の昭和カレー』。その名の通り、日本人の味覚にマッチした、どこか懐かしい飽きのこない味わいで、リピーターの胃



袋を掴んでいきます。一番のこだわりは、ふんだんに入れたトロトロの牛すじ肉。「おそらくこのカレー屋さんよりも多くの牛すじ肉を入れているのではないだろうか」と語るのは、オーナーの並木淳三郎さん。「肉質も吟味していますので、素材の旨味をしっかりと感じていただけたらと思います」と笑顔を見せます。トッピングも豊富で、からあげ、タンドリーチキン、メンチカツ、目玉焼きなどは100円。チーズは50円で追加できます。リピーターのなかには2種類追加される方も。なかでも目玉焼きをベースにほかのトッピングを組み合わせるパターンが人気です。

ちなみに金曜日の東京サンケイビルは「カレーの日」となっており、SMILE SPICEの他にも個性豊かなカレー専門のキッチンカーがずらりと並びます。金曜日に「カレーが食べたいな」と思ったら、ぜひサンケイビル前の広場へ。